

鹿児島市の「西郷どん大河ドラマ館」 指宿市の「いぶすき西郷どん館」 華々しくオープン!

NHK大河ドラマ「西郷どん」の放送スタートを受け、1月13日(土)鹿児島市に「西郷どん大河ドラマ館」がオープンしました。オープニングセレモニーでは森博幸市長が「西郷隆盛が生まれた鹿児島市の加治屋町に大河ドラマ館ができたことは感慨深く、来館された人達にとって思い出になればと期待しています」と挨拶。ゲストとしてセレモニーに招かれた西郷隆盛の父・吉兵衛役の風間杜夫さん、母・満佐役の松坂慶子さんは、テープカットを終えると館内の展示パネルにサインをしたり、プロジェクションマッピングを活用した映像で楽しむクイズコーナーを見学されました。特設ステージでは、風間さん、松坂さんと番組プロデューサーの櫻井賢 CP によるトークショーも開催され800人の観衆がドラマの裏話などに耳を傾けました。

また前日の12日(金)には、指宿市に「いぶすき西郷どん館」がオープン。こちらは当社が展示を担当した1階に大河ドラマのストーリーやその魅力を体感できる「大河ドラマ館」、2階では西郷隆盛と指宿の関わりや、西郷さんが実際に着用したシャツなどを展示した「特別企画展」を楽しめる施設です。鹿児島、指宿ともに来年1月14日(月・祝)まで無休で開催、皆さんぜひお越しください!



ゲストの風間さん、松坂さんとともに、テープカット



展示パネルにサインする松坂慶子さん



ドラマセットの前で取材会



特設ステージでのトークショー



三反園鹿児島県知事(写真中央左)と豊留指宿市長(写真中央右)



「いぶすき西郷どん館」

衣裳の展示

◆「西郷どん大河ドラマ館」(鹿児島市)

- 【開催場所】鹿児島市加治屋町20-1
鹿児島市立病院跡地内特設会場
- 【開催期間】2018年1月13日(土)～2019年1月14日(月・祝)
無休
- 【開館時間】午前9:00～午後5:00(最終入場 午後4:30)
- 【入場料金】大人(高校生以上)600円
こども(小中学生)300円
- 【問い合わせ】西郷どん大河ドラマ館入場券販売管理センター
TEL.099-803-3153
(午前9:30～午後5:15 土日祝を除く)

◆「いぶすき西郷どん館」(指宿市)

- 【開催場所】指宿市十二町2290番地
指宿市考古博物館 時遊館COCCOはしむれ内
- 【開催期間】2018年1月12日(金)～2019年1月14日(月・祝)
無休
- 【開催期間】午前9:00～午後5:00(最終入場 午後4:30)
- 【入場料金】大人(高校生以上)500円
こども(小中学生)300円 *他企画展共通券
- 【問い合わせ】いぶすき西郷どん実行委員会事務局
TEL.0993-23-3153



平成29年度(第72回) 文化庁芸術祭賞決定

広く一般に優れた芸術の鑑賞の機会を提供するとともに、
芸術の創造とその発展を図り、
芸術文化の振興に役立てることを目的とした「文化庁芸術祭」。
当社が制作する番組3作品の受賞が決定しました。

2/14
授賞式

テレビ・
ドラマ部門
大賞

特集ドラマ 「眩(くらら)～北斎の娘～」

江戸の天才絵師・葛飾北斎の三女として生まれたお栄(後の葛飾応為：宮崎あおい)は、北斎という絵に魅入られた男を尊敬し、北斎は眩しい光、自分はその影でいいと考えながらお栄は絵を描き続ける。そして60歳を過ぎたお栄は、一つの真実にたどり着く。

【ドラマ番組 佐野元彦 EP】 特集ドラマ「眩(くらら)～北斎の娘～」で、芸術祭大賞を頂くことが出来ました。これも一重にこのドラマを作る機会を与えて下さった皆様のお陰です。ありがとうございました。今回のドラマは、当初より海外展開を目指したいとは思っていましたが、が、実際、主役の宮崎あおいさんとともに撮影に訪れたイギリスで、「北斎」がいかに愛されているかを様々な場所で知る事ができました。その「北斎」を真正面から描くのではなく、「北斎」の影に隠れたもう一人の天才である「北斎の娘・お栄」を軸に展開したのが今回のドラマの味噌です。フランスで開かれたドラマの見本市で上映された際も、「お栄」を演じた宮崎あおいさんの演技が、世界中から集まった人たちの心に届いた事を実感できました。「世界の人に興味を持って貰える題材に、日本人ならではの感覚を流しこむコンテンツ」が今後、制作していくソフトのひとつの有り様だと思います。これからも挑戦をしていくつもりです。



テレビ・
ドラマ部門
優秀賞

土曜ドラマ 「夏目漱石の妻」

「夫婦は小説より奇なり」

明治という激動の時代を駆け抜け、夫婦として成長していく姿を、妻・鏡子の視点から、生き生きとユーモアを交えながら描くエンターテインメント・ホームドラマ。

【ドラマ番組 柴田岳志 ED】 一昨年、漱石没後百年に放送したこのドラマには、ひそかな夢がありました。放送の翌年は漱石生誕百五十年であり、本放送終了後も、色々な形で息長く発信し続ける作品にしていけたらという夢です。道は簡単には開きませんでした。が、昨年春の橋田賞と放送文化基金賞の受賞を機に事は動き出しました。新宿区が企画した漱石山房復元計画に「夏目漱石の妻」美術チームが参加、秋から一般公開が始まりました。また、当社のDVD制作チームが中心となりビデオの発売も実現しました。そして芸術祭参加が決まりNHKでも一年ぶりに再放送が実現、今回の受賞へと繋がっていきました。本放送から一年半、この作品を支えてくれた多くの方々に、心から感謝します！



テレビ・
ドキュメンタリー部門
優秀賞

NHKスペシャル 「戦慄の記録 インパール」

1944年3月、日本軍はイギリスなど連合軍の拠点インド・インパールの攻略を企図し無謀な作戦を決行した。9万人の将兵が川幅600メートル、2000メートル級の山岳地帯を越え、インパールを目指した。しかし、誰一人たどり着けず、死者3万人、傷病者4万という大敗北を喫した。撤退路には倒れた兵士が重なり、その道は白骨街道と呼ばれた。悲惨な戦いの全貌を描き大きな反響を呼んだNHKスペシャル。

【制作本部 新山賢治 SEP】 下は24歳、上は私の64歳、4世代にまたがる有志が集まってエネルギーを発散したプロジェクトでした。その時々持ちうる調査力・表現手段を最大発揮して、歴史の真相を常に更新していくことが視聴者の信頼をつなぎとめる唯一の方法だと考えます。その気概だけで「インパール」もスタートしましたが、未知数の番組に調査するべく、現地地下見に送り出してくれた社内の判断がこの結果をもたらしてくれました。



白骨街道

チンドウィン川